

かわと生きる 水辺の魅力を体験できる場所



子どもたちが全力で楽しめる場を作る幸せ そんな環境が整っている十勝エコロジーパーク

十勝川温泉街に隣接し、四季折々の自然の美しさと豊かさを体験することができる公園「十勝エコロジーパーク」。十勝川を跨ぐこの公園は水鳥など貴重な動物に出会える場でもあり、家族連れなど子どもから大人まで楽しむことができる。その中でも水辺を楽しむコンテンツとして人気があるのが「エコパ探検隊 ザリガニを観察しよう」ザリガニの種類や生体を学んだ後に、公園内の大池で手作りの仕掛けを使ってザリガニを釣りって観察する。このプログラムを含め様々な体験コンテンツをコーディネートしているのが柚原和敏さん。柚原さんは、帯広市職員として36年間「おびひろ動物園」に勤務され、園長を歴任されたのち退職。動物に関する豊富な知識とゲストをもてなす経験は現在行っている「エコパ探検隊」で大いに発揮されている。ザリガニの他、サケを卵から孵化させて放流するまでのプログラムや、凍った大池の氷を丸く切り抜いた「アイスカルーセル」、冬の森を歩くスノーシューハイキングなど、誰でも体験できる身近なネイチャーツアーとして人気を博している。

厳しい自然環境の中で暮らす
野生動物たちに出会えることが
素晴らしい体験の一つ



十勝エコロジーパークの中で好きな場所を聞いたら「大池」と答えてくれた柚原さん。公園は設計段階から、水辺や湿地など野生動物が暮らしやすい環境を整えて計画され、実際に実現している貴重な場所



柚原 和敏

1962年上士幌町出身。帯広市役所に入庁、その中で36年という長い年月を「おびひろ動物園」で勤務され、園長として活躍した後退職。退職後は現在の十勝エコロジーパークにて四季折々の季節毎の自然や野生動物の観察や営みを訪れる方に分かりやすくそして楽しく伝えている。

北海道立十勝エコロジーパーク

四季折々の表情を見せる広大な園内には、キャンプ場やコテージなど、大切な人との絆を深める施設も充実。遊ぶだけでなく、自然との出会いを通して新しい発見や学びがあり、心と体をリフレッシュする体験ができる。季節毎に開催されるイベントにも注目。

■<https://tokachi-ecopark.jp/>

